

田口佳史さんに問う 【老荘思想と日本の文化】



講師

東洋思想研究家
株式会社イメージプラン代表取締役会長

田口 佳史 Yoshifumi Taguchi

【オンラインのみ】今後の状況にかかわらずオンライン(Zoom)で開催します。丸の内キャンパスでの開催はございません。

老荘思想と日本の文化を探求する

森林山岳海洋の島国である日本に、ごくごく自然な形で「神信仰」が生まれ「森の民、山の民、海の民」の暮らしを支えています。そこへ真っ先に入って来た外来思想が老荘思想であります。この事がどれほど日本の文化に貢献することになったか。「神信仰+老荘思想」という兄弟姉妹に比すべき同種でありながら、性格を異にする絶妙な両者が、その後の多彩で豊かな多種多様な日本の文化の土台・基盤となったのです。

さて、いまわれわれに求められているのは、「新しい21世紀の日本の文化」を世界に発信することです。そのためには、この土台・基盤をもう一度新たな視点で再認識することが何としても必要なのです。それにより伝統を重視しつつも、誠に今日的な創造、文化的活動が巻き起こることでしょう。

是非皆さんと一緒に、新しい21世紀の日本の文化創造のために「老荘思想と日本の文化」探求の旅に出ようではありませんか。

田口 佳史

10・3 | 月
18:30-21:00

老荘思想の真意
神信仰との特有の関係

1

老荘思想とは、そもそもどの様なものなのか。どの様な魅力があるものなのか。それがわが国に伝来して、待ち受けていた「神信仰(神道のそもそもの姿)」と出会い、どの様な融合と住み分けが行われ、それがどの様に日本の文化の土台・基盤となったのか。

11・14 | 月
18:30-21:00

老荘思想と茶の湯の流儀
利休と織部と天心の創意

4

茶の湯の歴史を精神性の面から岡倉天心のガイドによって歩いてみると、そこにありありと老荘の心が活きていることがよくわかる。特に「庵りの茶」を生み出した千利休の発想の根幹には、見事に老荘の精神が見られる。更に古田織部の「ひしゃげ」の心こそ荘子の主張に他ならない。点前の所作の一つ一つから、茶の湯の作法の流れの中には、要所要所に老荘思想から受けた発想が活きている。

10・17 | 月
18:30-21:00

老荘思想とドラマツルギー
(作劇術)
世阿弥の格式とひらめき

2

世阿弥の創作の内側を可能な限り明らかにするために「夢幻能」の巧みな構成を探っていくと、その独特の作劇術が浮かび上がってくる。さらに数多い「芸論」を読み進むと、最も効果的に主題(テーマ)を主張する方法などを学ぶことにもなり、その根源に老荘思想が実に微妙な役割を果たしていることを知ることになる。

11・28 | 月
18:30-21:00

老荘思想とレジリエンス
デザインの無限性

5

中世文芸を細かに訪ねて、そこに老荘思想が言葉や語りの世界に強い刺激を与えたことが理解される。分けても「無常観」こそが老荘思想の持つ重要な特性の表明でもある。数々の文芸作品の中に生き生きと生き続けている老荘の精神を訪ねる。

10・31 | 月
18:30-21:00

老荘思想と蕉風俳諧
芭蕉らしさの源泉

3

芭蕉が芭蕉になったその時を探ることによって、蕉風の凄味の源泉にある老荘思想からの刺激がどの様に働いたのかが明らかになる。さらに「紀行文」に発展した蕉風の持ち味にこそ老荘の心が明確に認められることを明らかにすることによって、「思想の反映」という創造活動の原点が浮かび上ることになる。

12・12 | 月
18:30-21:00

老荘思想の真意
神信仰との特有の関係

6

経済活動も人間の活動であるから文化活動ともいえる。いやもっと文化性を持つ必要があるのではないか。その鍵はデザインだ。商品や事業デザインにも老荘思想は十分に影響を与えている。いやむしろバーチャル・リアリティやメタバースを見ると老荘思想そのものといえる。新商品、新事業に如何に老荘思想を活かすかを考える。

田口 佳史(たぐち よしふみ)

大学卒業後、日本映画新社に入社。映画『東京オリンピック』ではチーフ監督を務めた。

25歳の時、バンコク市郊外の農村で撮影中、突然水牛2頭に襲われ瀕死の重傷を負うも奇跡的に生還。その入院中の老荘思想との運命的な出会いが、東洋思想研究家へと歩み出す契機となった。

「東洋思想(儒・仏・道・禅・神道を有機的に融合させた思想や哲学)」を基盤とする独自の経営思想体系「タオ・マネジメント(東洋思想的経営論)」を構築・実践、数多くの企業経営者と政治家を育て上げてきた。社会人教育に関しては、延べ1万名(2000社)を超える提供・支援実績を有する。

「人新世(Anthropocene)」の時代に突入しており、人類の知的財産ともいえる「東洋思想」をもってその危機緩和・回避の一助を提供すべく精力的に活動中。これまで掲げてきた理念(東洋と西洋の知の融合)をより高い次元に発展させ、「21世紀に相応しい世界のあり方」を国内外に提唱するものである。関連して配信中のニュースレターは、海外でも注目を集めている。

【田口佳史ニュースレター】

<https://www.tao-club.net/newsletter/>

主な著書

『論語と老子の言葉～「うまくいかない」を抜け出す2つの思考法』(だいわ文庫)

『渋沢栄一に学ぶ大転換期の乗り越え方』(光文社新書)

『佐久間象山に学ぶ大転換期の生き方』(致知出版社)

『東洋思想に学ぶ人生の要点』(致知出版社)

『「愉快的人生」を生きる』(サンマーク出版)

『横井小楠の人と思想』(致知出版社)

※慶應MCCで開催された講座の講義内容が書籍になりました(下記5冊)。


『ビジネスリーダーのための「貞観政要」講義』(光文社)

『孫子の至言』『老子の無言』『論語の一言』(光文社知恵の森文庫)

『超訳 孫子の兵法』(三笠書房)

『超訳 論語』(三笠書房)

『なぜ今、世界のビジネスリーダーは東洋思想を学ぶのか』(文響社)

日程	2022年 10/3、10/17、10/31、11/14、11/28、12/12(すべて月曜日)
開催形態	オンラインのみ 丸の内キャンパスでの開催はございません。
回数	6回
時間	18:30-21:00(2.5時間)
定員	25名
会場	オンライン(Zoom)
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	・生きる上での哲学や価値観の重要性を認識し、醸成したい方 ・中国古典の思想・考え方を経営、ビジネス、人生に役立てたい方
申込み	http://www.sekigaku-agera.net/ 

講座の開催方法

本講座は【オンラインのみ】で開催いたします。今後の状況にかかわらず、丸の内キャンパスでの開催はございません。お申し込みにあたっては、下記をご確認くださいませようよろしくお願いいたします。

【オンラインのみ】



オンライン開催とは

・オンラインのみで開催します。丸の内キャンパスでの開催はございません。

オンライン参加について

- ・オンライン会議システム「Zoom」を使って配信します。
- ・パソコン(またはスマートフォン、タブレット)およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoomを初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

お問い合わせ

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com



今後の状況によっては対応施策が変更となる場合もございます。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。